

北海道身体障害者新聞

発行人 (社)北海道身体障害者福祉協会 赤坂 勝
札幌市中央区北2条西7丁目(かてる2-7)
電話 011-251-1551
ホームページ www.hokusinkyo.or.jp
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
毎月 25日発行
会員購読料(年) 90円(会費を含む)
非会員 同 2,000円

全道身体障害者福祉大会夕張大会 夕張市市民による国際映画祭のまち夕張市で開催

北海道身体障害者福祉協会・夕張市身体障害者福祉協会主催の「第五十八回全道身体障害者福祉大会夕張大会」が十月二十五日(日)、道内各地から七百名を超える人たちが「ゆうばり文化スポーツセンター」に会して、盛大に開催された。

これまで開催に向け、大会推進委員会及び地元身障協会で協議を重ねながら、行政に頼る大会ではなく、地元身障協会が行う大会準備や運営を北身協がサポートする形で進められ、大会当日は秋晴れにも恵まれ、百三十名を超える地元市民ボランティアの協力で支えられて、素晴らしい大会になった。

【大会の概要】

●開会
瀧山征治副大会長(北身協副会長)による開会のことばで全道大会が開会した。

国歌斉唱・黙祷のあと、赤坂勝大会長(北身協会長)から主催者としての挨拶があり、「大会の開催準備をいただいた夕張市、福祉関係諸団体、ボランティア、多くの住民の方々と、地元身障協会の皆様には、陰に陽にお世話いただいたことに感謝申し上げます。」と、また、「本日は、表彰される皆様は、永年の地域社会での福祉活動やご自身がその障がい克服され、懸命にご努力されたことが評価されたものであり、心からお祝いと感謝を申し上げます。健康に留意されてそれぞれの地域で一層の活躍を期待申し上げます。」と、さらに「劇的な政権交代が今回の総選挙で実現しました。新たな政権は「マニフェストは国民との契約」であるとい、われわれ障がい者にとって大変厳しい法律



瀧山征治副大会長



赤坂 勝大会長

であつた障害者自立支援法は廃止するとのコメントを発表しています。今回の政権交代は我々にとっては新たな障がい者福祉の元年と言つても過言ではないこの上ない朗報であります。その実現のために我々もまた努力を重ねなければならぬと思ひます。」と挨拶した。続いて地元夕張市長(代理副市長羽柴和寛(はしばかずひろ)氏)から歓迎の挨拶があつた。

●式典及び表彰
表彰は、北海道善行賞(知事表彰)の自立更正者五名、自立更正援護者五名、北海道道身体障害者福祉協会会長表彰の自立更正者二十一名、援護功労者十九名に、それぞれ表彰状と記念品が贈られた。

続いて北海道知事(代理坂井秀利(さかいひでとし)空知支庁長)、北海道議会平出陽子(ひらでようこ)副議長、夕張市議会山本勝昭(やまもとかつあき)議長から祝辞があり、来賓



知事表彰の受賞場面

紹介、祝電披露のあと受賞者を代表して山崎清隆(やまざききよたか)氏(空知支庁地区)から「日頃の自立更正活動や援護活動が認められ、また、皆様方から心温まるお言葉をお聞きいただき、受賞者を代表して感謝いたします。これから障害者の自立更正と援護活動に力を尽くしてまいります。」と謝辞が述べられた。

●アトラクション
その後、夕張太鼓保存会「竜花」による太鼓の実演が披露された。

●講演
十一時過ぎから北海道保健福祉部福祉局長中野孝浩(なかのこうじ)氏により「北海道障がい者条例と道の障がい者保健福祉施策の動向について」と題して講演が行われた。講演は、「北海道障がい者条例とは」、「北海道条例の主な特徴」、「地域づくりのポイント」、「就労支援」、「権利擁護」などについて、スライドを使いながら、会場の参加者が判りやすいように懇切丁寧な説明が行われた。

●全体会議
午後から議長団の堂前文男氏(北身協理事)と森正裕(もりまさひろ)氏(道視連)の進行



アトラクションでの実演

により全体会議が開催され、助言者として北海道保健福祉部福祉局長が保健福祉課の加藤英明(かとうひであき)主査が紹介された。その後、和田真一常務理事から「第五十七回北海道要望事項」の報告が行われた。続いて事前に提出があつた第五十八回夕張大会提出議案を審議し、いずれも提案どおり採決された。

一 身体障がい者の地域生活支援(住宅改修)の充実に ついて(砂川身障協会提案)

二 障がい者用駐車スペースの適正な利用の推進について(帯広身障協会提案)

三 ハイブリッド車・電気自動車への普及に伴う視覚障がい者に対する安全対策について(道視連提案)

四 盲老人ホームの増設について(道視連提案)

五 広報誌等に関する情報保障について(道視連提案)

また、当日会場から次の提案があつた。

- ・市町村が身体障害者相談員に必要な情報を提供するよう指導することについて(宗谷支庁地区提案)
- ・福祉活動をしているNPOに寄附金控除を認めることについて(沼田町分会提案)



受賞者を代表して謝辞



会長表彰の受賞場面

●決議
続いて山本克光運営委員から決議(案)が読み上げられ、提案どおり採決(決議は裏面に掲載)。

●次期開催地あいさつ
議長団退任後、次期開催地の帯広市長(代理帯広市保健福祉部障害福祉担当調整監鈴木康悦(すずきやすよし)氏)から「澄んだ青空と美味しい水の帯広で伝統あるこの大会が開かれることを光栄に思い、お待ちしております。」と挨拶があつた。

●万歳三唱と閉会
続いて、小林孝雄副大会長(夕張市身障協会会長)の発声で万歳三唱を行い、その後、政田一美副大会長(北身協副会長)の閉会宣言により夕張大会の全日程が終了した。

●障害者一〇番法律相談
大会当日は、十時三十分から十四時までの間、会場の応接室に「障害者一〇番法律相談会」が開設され、札幌弁護士会所属の末長宏章(すえながひろあき)弁護士による相談が行われた。なお、この相談会には財産侵害に関する相談などが寄せられた。



全体会議での審議状況

●大会宣言
稲垣則子運営委員から大会宣言(案)が読み上げられ、提案どおり採決(大会宣言は裏面に掲載)。

二日目は、相談員連絡協議会総会が開催され、決算報告や予算案などの審議のほか、相談員活動に関して活発な意見交換が行われた。

●東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会が開催
十一月五日から六日の二日間、秋田市内で、百六十八名の相談員などが出席して第十六回東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会が開催された。一日目は、「村にすくべの医者」がきた」と題して仙北西明寺診療所長市川晋一(いちかわしんいち)氏による記念講演と、障害者相談員実態調査企画実行委員会清水圭子(しみずけいこ)委員による「相談業務の現状と課題」と題して講演が行われた。

●決議
続いて山本克光運営委員から決議(案)が読み上げられ、提案どおり採決(決議は裏面に掲載)。

●次期開催地あいさつ
議長団退任後、次期開催地の帯広市長(代理帯広市保健福祉部障害福祉担当調整監鈴木康悦(すずきやすよし)氏)から「澄んだ青空と美味しい水の帯広で伝統あるこの大会が開かれることを光栄に思い、お待ちしております。」と挨拶があつた。

●万歳三唱と閉会
続いて、小林孝雄副大会長(夕張市身障協会会長)の発声で万歳三唱を行い、その後、政田一美副大会長(北身協副会長)の閉会宣言により夕張大会の全日程が終了した。

●障害者一〇番法律相談
大会当日は、十時三十分から十四時までの間、会場の応接室に「障害者一〇番法律相談会」が開設され、札幌弁護士会所属の末長宏章(すえながひろあき)弁護士による相談が行われた。なお、この相談会には財産侵害に関する相談などが寄せられた。

●決議
続いて山本克光運営委員から決議(案)が読み上げられ、提案どおり採決(決議は裏面に掲載)。

●次期開催地あいさつ
議長団退任後、次期開催地の帯広市長(代理帯広市保健福祉部障害福祉担当調整監鈴木康悦(すずきやすよし)氏)から「澄んだ青空と美味しい水の帯広で伝統あるこの大会が開かれることを光栄に思い、お待ちしております。」と挨拶があつた。

●万歳三唱と閉会
続いて、小林孝雄副大会長(夕張市身障協会会長)の発声で万歳三唱を行い、その後、政田一美副大会長(北身協副会長)の閉会宣言により夕張大会の全日程が終了した。

●障害者一〇番法律相談
大会当日は、十時三十分から十四時までの間、会場の応接室に「障害者一〇番法律相談会」が開設され、札幌弁護士会所属の末長宏章(すえながひろあき)弁護士による相談が行われた。なお、この相談会には財産侵害に関する相談などが寄せられた。

●決議
続いて山本克光運営委員から決議(案)が読み上げられ、提案どおり採決(決議は裏面に掲載)。

●次期開催地あいさつ
議長団退任後、次期開催地の帯広市長(代理帯広市保健福祉部障害福祉担当調整監鈴木康悦(すずきやすよし)氏)から「澄んだ青空と美味しい水の帯広で伝統あるこの大会が開かれることを光栄に思い、お待ちしております。」と挨拶があつた。

●万歳三唱と閉会
続いて、小林孝雄副大会長(夕張市身障協会会長)の発声で万歳三唱を行い、その後、政田一美副大会長(北身協副会長)の閉会宣言により夕張大会の全日程が終了した。

●障害者一〇番法律相談
大会当日は、十時三十分から十四時までの間、会場の応接室に「障害者一〇番法律相談会」が開設され、札幌弁護士会所属の末長宏章(すえながひろあき)弁護士による相談が行われた。なお、この相談会には財産侵害に関する相談などが寄せられた。

社団法人日本義肢協会会員

<p>株式会社 千葉義肢製作所 釧路市若草町七番二号 電話(〇一五四)二二一〇三八一 FAX(〇一五四)二五九八八</p>	<p>株式会社 美唄義肢製作所 代表取締役 松田清勝 美唄市東七条北四丁目七番九号 電話(〇一二六)六二一〇九三二</p>	<p>株式会社 協和義肢製作所 岩見沢市三条西八丁目 電話(〇一二六)三三三三九 旭川市十条通り九丁目 電話(〇一六六)二四一〇三四 転送電話三二一八六五</p>	<p>株式会社 三愛義肢製作所 岩見沢市志文町九二三番地二六 電話(〇一二六)二二一六四三番 帯広営業所 帯広市大川町三〇番地一 電話(〇一五五)二四一五七七番</p>	<p>株式会社 田村義肢製作所 札幌市中央区北四条東五丁目 電話(〇一四二)二〇一七七七番 帯広支店 帯広市大通南十五丁目二十番地 電話(〇一五五)二二四八九番</p>	<p>株式会社 馬場義肢製作所 函館市豊川町一五の二 電話(〇一三六)三二二六五 札幌市北區太平七条二丁目 電話(〇一四七)四一三〇三 室蘭市母恋北町一の三の六 電話(〇一四三)三二五九九 釧路市富士見一五の九 電話(〇一五四)四一三五四番</p>	<p>株式会社 河笠義肢製作所 小樽市長橋四丁目七番二十九号 電話(〇一三四)二二一三〇四二番 電話(〇一三四)三二一七〇〇二番</p>	<p>株式会社 野坂義肢製作所 札幌市中央区南三条東四丁目 電話(〇一二二)二二一四〇六番</p>	<p>株式会社 札幌義肢製作所旭川支店 支店長 舛田裕司 旭川市五条通十二丁目 電話(〇一六六)二四一五三三番</p>	<p>株式会社 札幌義肢製作所 代表取締役 関 守 札幌市中央区南三条西六丁目 電話代表(〇一二四)一〇九八六番 電話(〇一二四)一〇九八六番</p>
--	--	--	---	---	---	---	--	--	--

「協力をして」町内会の回覧協力による日身連収益事業は、あなたの協会に還付されております。

【全道身体障害者福祉大会夕張大会宣言】

ここの夕張市は、かつて多くの炭鉱を有し北海道の石炭産業の中心地として栄えた町、メロンが代名詞となつて町、市民の手づくりで続けられていた国際映画祭の町でもあります。今、厳しい財政状況の下、一丸となって夕張の再生に向けて取り組んでいられる多くの市民に、私たちは心からエールを送ります。そして、市民のご理解とたくさんのご協力をいただいで本大会を開催できたことを感謝申し上げます。

今年「障害者基本法」の見直しの年とされています。昨年来検討が進められ、差別の定義を設けること、差別の禁止や防止について規定することなどが見込まれています。「障害者の権利に関する条約」の批准に向け、条約の内容に沿ったものとして改正される必要があります。

町村協会だより 50 (網走管内滝上町) 巨大なマンモスに、皆、ビックリ！

今回紹介する協会は、網走支庁地区身体障害者福祉協会滝上分会(小谷孝一分会長)です。同協会は、以前に紹介していましたが、最近の分会活動について、身障新聞を通して会員の方々に伝えたいという熱い思いで投稿がありましたので紹介します。

今年、分会長が加藤四郎さんから小谷孝一さんに交代しましたが、今年度も身障協会の活性化と会員相互の親睦を図るため「平成二十一年度網走地区スポーツレクリエーション大会と会員親睦旅行」を企画し、十月十七日から十九日の二泊三日で旅行を行なっています。今回は、滝上分会のPRとして、この旅行に参加した清水美知江(しみずみちえ)さんの手記を紹介し



H20.9.9羊ヶ丘展望台で

くりのために行動することを誓い、宣言します。平成二十一年十月二十五日 第五十八回全道身体障害者福祉大会夕張大会

【同大会決議】 障害者権利条約批准に向けた国内法制の早期整備を要望する。 障害者虐待防止法の制定を要望する。 障害者相談員制度の活用と充実を要望する。 地域格差のない障害者福祉施策の実現を要望する。 以上、決議する。 平成二十一年十月二十五日 第五十八回全道身体障害者福祉大会夕張大会

【北海道の歴史と福祉】の紹介

この度、北海道社会福祉史研究会から北海道の開拓と社会福祉の実践活動のあゆみについてまとめた「北海道の歴史と福祉」が発刊された。本書は、蝦夷から北海道に変わり屯田兵や本州から移住してきた人々による開拓の歴史と北海道の先住民アイヌの人たちの生活と福祉活動のあゆみについて、生活保護、児童福祉、障害福祉、高齢者福祉、母子寡婦福祉、地域



H21.10.19道立北方民族資料館で

たが、ホテルに着くと役員さん達の配慮による部屋割りに、くつろいだ初日の夜を迎えました。二日目の朝七時、張り切つてスポーツ大会にと「網走総合体育館」へと出発。九時の開会式に臨みました。個々の障害に対しての心配りのある選手が競技にいどみましました。成績は玉入れが一位、フライングデイスクが三位の好成績で終わりました。ホテルの帰途、「道立北方民族資料館」を見学。先人アイヌの人達の頭の良い、器用な日常生活を衣食・住に見て、加藤前分会長の交渉により資料館の職員菅原章子さんの説明を受けることができて一層、感銘を受けました。

マンモスの巨大な剥製は、馬の尾四百頭を、骨は鯨の骨とのこと、驚きでした。帰途の天都山のサルビアは最盛期。藻琴川の鮭の遡上を見て鮭の一生を考え、生き物すべての定め等、一寸胸が痛い思いがしました。この夜は、賑やかな親睦会。障害を忘れての二時間を終えて、来年もきつと健康で又旅行に行きたいと互いに約束をしながら解散しました。三日目、帰宅の朝は朝風呂に入る人、土産を買う人等、帰りのバスの中では加藤さんの豊かな話題、明るい雰囲気の中に、二時半、帰宅しました。昔ながら障害者は家の中にもつていただけなのに有難い時代になったとの話に皆うなずいていました。一連の行事にかかわられた人達の御好意に感謝しながら、私たち障害者にも出来ることがあれば役に立ちたい等と話合いい、無事旅行を終えました。

文芸

短歌

由仁町 中嶋つぎ子 夕陽に影長く引く電動カーゴルフ芝生は赤く燃えたりナナカマド朱実を髪にかざしつ子ら楽しげに夕焼けに佇つ 釧路市 松橋 幸子 姉の住む清里町の山葡萄箱詰となり重き荷届くノボタンの未だに咲けぬ一株を鉢上げしたり霜近き夕べ 釧路町 大道恵美子 街中を急ぎ歩けば膝痛む釧路一急な月見坂くだるわが母も叔父も友らもみまかりて晩秋の風は一入寒し 介護料ひかれ変な世なりぬ高年齢者多く赤字の北の街敬老会もすべてなくなり入院の足を見舞った帰り道七十半ばの友の死悲しわが世代次々逝くも変なりきまさに去年の世相文字

Advertisement for various services including Hokkaido Rehabilitation, Nissin Automotive Industry, and Hokkaido Rehabilitation Center. Includes contact information and service descriptions.

Advertisement for HOP (Hokkaido Open Partnership) Hokkaido Regional Life Support Center. Lists various support services and contact details.

Advertisement for Ryufu Bus (ライフバス) and Iwazaki Yamaoka (岩見沢義肢). Includes contact information and service details.